

「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域における草の根活動支援事業）」活動報告

フィールドセミナー「北摂の里山の現状を探る」

開催日時 : 平成 27 年 2 月 8 日 (日) 9 : 30 ~ 16 : 30

開催場所 : 高槻市 (楊梅山、高槻森林観光センター、高槻森林資源加工センター他)

内 容 : フィールドセミナー 「北摂の里山の現状を探る」

ナラ枯れ、シカ食害、開発と薪炭利用の停止など、今日の里山問題を凝縮したような形で、高槻市北部の里山をめぐり、複雑な現状とその打開策を考える。

- 川久保の新名神高速工事の現場見学
- 楊梅山 (ボランティアによる里山管理の現状とシカ食害、ナラ枯れ現状等の見学)
- 高槻森林観光センターにてセミナー等を実施
- 高槻森林資源加工センターの見学
- 雑木林の伐採地 (シイタケ原木用) の見学

案内役 : ・小柿正武 (あくあびあ芥川・森のプラットフォーム高槻)

- ・佐久間大輔 (大阪市立自然史博物館)
- ・大住克博 (鳥取大学)
- ・都解浩一郎 (大阪府森林組合)

参加者 : 20 名

当日の様子 :



楊梅山 (国有林) の見学の様子

小柿さんにより、ボランティアによる里山管理が行われている楊梅山を案内していただき、シカ食害、ナラ枯れ等の里山の問題ある現状等の見学をした。

参加者は欠席もあり、最終的に 20 名であった。今回のねらいでもあるが、参加者の方々の年齢層や所属は非常にバラエティに富んでいた。

当日の様子（つづき）



楊梅山（国有林）の現状

シカ害（左）やナラ枯れ（中、右）の現状を現地で確認した。



高槻森林観光センターでのセミナーの様子

施設の紹介などを都解さんからご紹介いただき、その後で大住さんから「里山はなぜ管理を必要とするか」というテーマで講義いただいた。

ディスカッションについては、佐久間さんが中心となり、参加者の方々などとともに質問や意見が交わされた。



高槻森林資源加工センターの見学の様子

ペレットの加工現場を実際に見学し、さまざまな工程等について、都解さんに説明していただいた。純粹にペレットに加工するためだけに伐採・搬入を行うとコスト面で問題があるなど、各所にみられる循環的な資源利用の問題点なども理解できた。